

6:10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

6:11 悪魔の策略に対して強く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。

6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。

6:13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて強く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。

6:14 そして、強く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、

6:15 足には平和の福音の備えをはきなさい。

6:16 これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。

6:17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のこばを取りなさい。

地上に住む限りは、様々なこと、色々な分野、あらゆる人々と競い合わなければなりません。時には、自分は戦っていると思うこともあるでしょう。しかし、そのような現実の中にあっても、聖書は「格闘は血肉に対するものではなく」と言っています。

すべてを良きにしてくださるのは主であり、勝利を与えてくださるのは主であり、また本当の幸いをくださるのも主です。ですから私たちは、この世と関わりつつ、その背後に働いて支配しておられる主との関係が大切です。そしてその主との関係を妨げようとするのが、サタンとその配下にある悪霊ですから、私たちの格闘は「悪霊に対するもの」なのです。

ですからここに記されている武具を身に着けましょう。あなたにとっては何が一番必要でしょうか。「身に着ける」ということは、実際に使えるようにすることです。「真理」「正義」「福音」「信仰」「救い」「神のこば」を、いざという時のために、日頃から使えるようにしておきましょう。主とともに歩むなら、それらを使う必要が生じます。これらを武器と認識して、用いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

